

活動内容報告書

団体名		特定非営利活動法人メッシュ・サポート	
直近活動報告 3か月	2025年 10月 1-31日	ヘリ活動 計22件 = 現場救急 8件・離島転院搬送14件・災害捜索 0件 飛行機活動 計 2件 = 帰島搬送 1件・離島転院搬送 1件	
	2025年 11月 1-30日	ヘリ活動 計19件 = 現場救急11件・離島転院搬送 8件・災害捜索 0件 飛行機活動 計 0件 = 耐空検査整備のため運休	
	2025年 12月 1-31日	ヘリ活動 計13件 = 現場救急 4件・離島転院搬送 9件・災害捜索 0件 飛行機活動 計 0件 = 耐空検査整備のため運休	

活動風景の写真などを添付してください



伊平屋村内の熱中症患者搬送のため出動
(2025年10月11日：伊平屋ヘリポート)



宮古島から那覇へ膀胱癌患者の準救急搬送
(2025年10月2日：宮古島空港)

コメント

■沖縄本島北部医療用ヘリ活動

沖縄緊急時において15分以内の初期治療の可否が救命率に大きく左右します。ドクターへりは15分以内に医師が現場に駆け付け、救命治療を行える体制構築を目指しています。沖縄県のドクターへりは浦添市に配備されており、かつ、沖縄県本島の最北端の救命病院は名護市となります。北部救急救助ヘリの運営により、北部地域の救命活動に取り組んでいます。

■琉球諸島医療用飛行機活動

沖縄県では1972年の日本復帰以降、陸上自衛隊および海上保安庁への災害派遣要請による離島急患搬送が開始され、2008年に沖縄県本島にドクターへりが導入されました。先島・大東諸島からの長距離離島における迅速な搬送体制の構築は未だ沖縄県の命題であり、また感染症患者の搬送や、身体的に公的交通手段では帰島できないなどの離島特有の問題も介在しています。改善策として、飛行機を活用した南西諸島全域の医療支援に取り組んでいます。